

科目名	(D) 国際関係論演習	担当者	竹田 いさみ
開講期	通年	単位数	4 単位
【概要】		【授業計画】	
<p>国際関係論を専攻する受講生の研究テーマを設定することが、主要な目的である。研究テーマに関する議論を重ね、さまざまな選択肢の中から研究テーマを絞り込む作業を行なう。事例としては、シーパワーとしての米国に焦点を当て、英国や豪州との比較を行う。</p> <p>各種の学術文献をリサーチし、研究テーマが資料的にも可能かどうかを吟味しながら、研究テーマを決めていく。</p> <p>研究テーマが決定した受講生は、博士論文の構成や章編成を念頭に置きながら、論文の執筆作業に取り掛かり、参考文献に関するプレゼンを行なう。</p>		<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 国際情報ツールの説明 3. 各種学術文献のリサーチ方法 4. 研究テーマの対象領域：現代の米国研究 5. 研究テーマの対象領域：現代の英国研究 6. 研究テーマの対象領域：現代の豪州研究 7. 研究テーマの対象領域：現代の英語圏研究 8. 授業総括 9. 研究テーマの対象領域：国際機関研究 10. 研究テーマの対象領域： <ul style="list-style-type: none"> 伝統的安全保障研究 11. 研究テーマの対象領域： <ul style="list-style-type: none"> 非伝統的安全保障研究 12. 研究テーマの対象領域と限界：米国外交史 13. 研究テーマの対象領域と限界：英国外交史 14. 研究テーマの対象領域と限界：豪州外交史 15. 研究テーマに関するプレゼンと議論 16. 研究テーマに関するプレゼンと議論 17. 研究テーマに関するプレゼンと議論 18. 博士論文に関する指導 19. 博士論文に関する指導 20. 博士論文に関する指導 21. 研究テーマに関するプレゼンと議論 22. 研究テーマに関するプレゼンと議論 23. 研究テーマに関するプレゼンと議論 24. 博士論文に関する指導 25. 博士論文に関する指導 26. 研究テーマに関するプレゼンと議論 27. 研究テーマに関するプレゼンと議論 28. 博士論文に関する指導 	
【到達目標】		【事前・事後学修の内容】	
国際関係に関する博士論文のテーマを決定し、執筆できるようにする。		配布資料の事前・事後の学習。	
【テキスト・参考文献】		【評価方法】	
James C. Bradford ed., <i>America, Sea Power, and the World</i> (Oxford: Wiley-Blackwell, 2016).		授業でのプレゼンテーションや参加状況などに基づいて総合的に評価する。期末レポート 70%、授業でのプレゼン 30%です。	